

コミケビギナーのための 超・速・解 アドバイス



まだまだ色々と大変な世の中ですが、それでもコミケットが開催できることは素直に喜ぶたいものです。

とは言え、不確定要素だらけの、誰も経験したことがない夏コミになるので、参加者全員がこれまで以上にきちんとした準備や状況認識が必要になることは確かです。準備や対策を整えて、せっかくの夏コミを精一杯楽しみましょう！

■■キーワードは『サバイバル』!?■■

今年の夏は何をさておいても、『節電』という社会的な動きを無視しては語れない。

コミケット会場内は会期中特に空調の停止などは行われない予定だが、会場に至る交通機関などでは節電によって空調温度が引き上げられたり、切られたり、エスカレーター等が使用できない、といった事態が起こり得る。直接的・間接的に参加者が被る影響は決して小さくないだろう。

コミケットに参加するかしないかは個人の自由だが、こういった状況の中でも参加すると決めたのなら、今まで以上に、参加者の責任というものが大切になってくる。つまり、会場内だけの過ごし方ではなく、朝家を出てから帰宅するまで、暑い、雨といった環境的な要素にも、また突然大きな地震などが発生する、それによって交通が麻痺するといった状況的な要素をも念頭に置いて、1人1人がきちんとした準備と心構えをしておく必要があるということなのだ。

——■自分の安全は自分で護る■——

まだ先の大震災の余震さえも、収束しきっていない状況下で行われる今回のコミケット。何かと不安を抱えている参加者も多いことだろう。

以下に挙げた物は、長時間自宅を離れた出先で1日を過ごすケースでアナタの安全を確保するために必要なアイテムだ。ひと通り揃えた上で、他の装備や会場での買い物を考えるようにして欲しい。

①身分証明書

運転免許証、健康保険証、学生証、パスポート、そういった物が何も無ければ公共料金の請求書の控えなどでも構わない。自分がどこに住んでいる誰なのかを第三者が証明した物。

②健康保険証・メディカルカード

現在健康保険証は個人発行になっているので、それを携行する。医療機関のお世話になった時に、保険証が無いと高額の自己負担請求を受けることになるので身分証も兼ねて忘れずに持っておこう。

メディカルカードは自作する。自分の緊急連絡先（複数）、年齢、身長＆体重、血液型、かかりつけの医院、持病やアレルギーや常用薬があればその種類、平常時の平均血圧や体温等を保険証のサイズに合わせた紙に記載し、保険証と一緒に持ち歩く。これらのデータが揃っていれば、万一の時にも素早かつ的確な処置を受けることができ、医療機関側の手間も省くことができるのだ。

クリアのカードケース類と一緒に入れておくとよい。

③携帯電話の予備バッテリー＆テレホンカード

現代人にとって文字通り頼みの綱の携帯も、電池が切れたらおしまいだ。特に混雑した会場内や、何らかの災害が発生して皆が一斉に携帯を使う状況になると、急速にバッテリーを消耗するので、予備のバッテリーは必ず用意しておきたい。

また、携帯が使えなくなったり、不通になった場合には公衆電話からの連絡を試してみるためにテレホンカードは必要だ。残額が十分にあるものを1枚以上必ず用意しておこう。

コミケビギナーのための 超・速・解 アドバイス



まだまだ色々と大変な世の中ですが、それでもコミケットが開催できることは素直に喜ばいものです。

とは言え、不確定要素だらけの、誰も経験したことがない夏コミになるので、参加者全員がこれまで以上にきちんとした準備や状況認識が必要になることは確かです。準備や対策を整えて、せっかくの夏コミを精一杯楽しみましょう！

■■キーワードは『サバイバル』!?■■

今年の夏は何をさておいても、『節電』という社会的な動きを無視しては語れない。

コミケット会場内は会期中特に空調の停止などは行われない予定だが、会場に至る交通機関などでは節電によって空調温度が引き上げられたり、切られたり、エスカレーター等が使用できない、といった事態が起こり得る。直接的・間接的に参加者が被る影響は決して小さくないだろう。

コミケットに参加するかしないかは個人の自由だが、こういった状況の中でも参加すると決めたのなら、今まで以上に、参加者の責任というものが大切になってくる。つまり、会場内だけの過ごし方ではなく、朝家を出てから帰宅するまで、暑い、雨といった環境的な要素にも、また突然大きな地震などが発生する、それによって交通が麻痺するといった状況的な要素をも念頭に置いて、1人1人がきちんとした準備と心構えをしておく必要があるということなのだ。

——■自分の安全は自分で護る■——

まだ先の大震災の余震さえも、収束しきっていない状況下で行われる今回のコミケット。何かと不安を抱えている参加者も多いことだろう。

以下に挙げた物は、長時間自宅を離れた出先で1日を過ごすケースでアナタの安全を確保するために必要なアイテムだ。ひと通り揃えた上で、他の装備や会場での買い物を考えるようにして欲しい。

①身分証明書

運転免許証、健康保険証、学生証、パスポート、そういった物が何も無ければ公共料金の請求書の控えなどでも構わない。自分がどこに住んでいる誰なのかを第三者が証明した物。

②健康保険証・メディカルカード

現在健康保険証は個人発行になっているので、それを携行する。医療機関のお世話になった時に、保険証が無いと高額な自己負担請求を受けることになるので身分証も兼ねて忘れずに持っておこう。

メディカルカードは自作する。自分の緊急連絡先(複数)、年齢、身長&体重、血液型、かかりつけの医院、持病やアレルギーや常用薬があればその種類、平常時の平均血圧や体温等を保険証のサイズに合わせた紙に記載し、保険証と一緒に持ち歩く。これらのデーターが揃っていれば、万一の時にも素早く的確な処置を受けることができ、医療機関側の手間も省くことができるのだ。

クリアのカードケース類と一緒に入れておくとよい。

③携帯電話の予備バッテリー&テレホンカード

現代人にとって文字通り頼みの綱の携帯も、電池が切れたらおしまいだ。特に混雑した会場内や、何らかの災害が発生して皆が一斉に携帯を使う状況になると、急速にバッテリーを消耗するので、予備のバッテリーは必ず用意しておきたい。

また、携帯が使えなくなったり、不通になった場合には公衆電話からの連絡を試してみるためにテレホンカードは必要だ。残額が十分にあるものを1枚以上必ず用意しておこう。